

【別紙】 平成23年度学部長裁量経費プロジェクト報告書

平成24年5月1日

平成23年度 学部長裁量経費「日韓の新しい教育課程に対応した島根大学教育学部と同附属
小学校及び釜山教育大学校と同附設初等学校の共同研究プロジェクト」
についての実施状況

報告：松本一郎

平成23年度の釜山教育大学との交流事業にあたっては、附属小学校の交流と大学教員との交流の2つを同時に行う事が大学教員および附属関係者の間で事前協議がもたれた。事前協議は、足立先生、多々納先生、小川先生、佐々先生、高橋先生、藤井先生、永井附属小学校副校長、松本で行った。

今年度の釜山教育大学への訪問として、大学間交流として、佐々先生、辻本先生、塚田先生、松本が担当した。これは、環境寺子屋をはじめとする理科分野で交流を深めようという狙いからであり釜山側とも平成22年度から確認していた内容であった。また、附属学校の連携として、佐々校長、松本主事が兼務しての視察交流を、附属小学校の4名の先生、5・6年生16名とともにいった。

日程と交流の内容については、以下主に写真をそえて解説をする。

釜山訪問日程：平成23年11月20日～11月23日（20日と23日は移動日）

【大学間交流】11月21日（島根大学の理系教員3名（辻本、塚田、松本）と釜山教育大学の理科教育研究室の8名の教員との間で、この1年のお互いの研究や教育の内容について交換をすることができた。また、次回は釜山側が島根大に訪問することも確認した。11月22日は、釜山教育大学の理科研究室の施設（教室と実験室）を見学するとともに、事務担当者とも会談を持ち今後の継続的な交流についての確認を行った。具体的な内容としては、今後はお互いに学生への特別授業のようなものを企画してほしいという要望（釜山側から）があった。また、年度内の釜山から島根大への訪問については継続的にその時期や内容を連絡しあう事が確認された。

付記）大学教員は、島根大学附属小学校の子ども達の引率補助としてその実際を体験するとともに、釜山教育大学の附属の子ども達にもふれ、附属学校の国際的な比較を視察によって得る事ができた。

【附属間交流】11月22日に釜山教育大学附属学校の講堂で行われた。午前中は、大学教員

も参加した。また、音楽の藤井先生も自身の研究の一環で立ち会われた。この交流は、お互いの小学校の子どもがそれぞれの活動（歌やおどり、運動）を披露し合うものであり、その後、子ども達は、それぞれのクラスに分かれて交流を行った。

【プロジェクトの成果】交流事業を計画的に遂行できた事が一番の成果であり、今後継続していくであろう釜山教育大学校との、学部及び附属が一体となった交流がはじめて実現した。二つ目の成果として、懸案であった交流する教員の拡大、特に若手教員への水平展開ができ、平成 24 年度に向けた具体的な交流内容の検討ができた。



附属学校との合同の訪問：釜山の
ホテルロビーにて



附属学校の子ども達による合唱の様子



釜山教育大学附属学校の子ども達による
合唱の様子



釜山教育大学附属での歓迎会談の様子



大学間交流：理系教員の懇談会の様子



釜山教育大学の若手理系研究室訪問
化学研究室への訪問の様子



図書館長による図書館見学の様子



研究室訪問：科学系の実験観察のまとめの
様子。観察しているのは研究室の学生。



研究室訪問：生物系実験の様子

以上